

研究指導の概要

農学学位プログラム

【課程：修士課程】

学年	学期 モジュール	研究内容及び指導方法等
1 年 次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ●新入生オリエンテーション 博士前期課程の履修・研究スケジュールについてガイダンスを行う。 ●研究倫理教育プログラムの履修 ●履修登録 前期・後期分の履修計画を立て、登録を行う。 ●「研究指導計画書」の作成・提出 主指導教員と相談のうえ、研究課題、副指導教員2名（1名は他領域教員）を決定し、論文作成スケジュールを確認する。 ●大学院基盤教育科目及び大学院基礎専門科目の履修 研究科横断型の大学院科目を履修し、領域横断・異分野連携についての学修を深める。 ●修士特別研究の履修・通年 修士論文の作成に向けて、各自の課題に沿った研究に取り組む。 ●修士特別演習の履修（研究計画発表） 修士論文研究の研究計画や進捗状況を発表し、専攻の教員や学生とのディスカッションを通じて、論文作成に向けて研究方法や内容の改善を図る。 ●環境保全型食農連携実習の履修（必修） ●基幹科目の履修 広く農学の知識を修得する。 ●研究実践科目の履修（専門演習・通年） 研究テーマの設定から研究の進め方、結果や考察を導くための基礎的な能力を習得する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ●可能であれば、修士論文に関するテーマについて、学会発表や査読付き学術雑誌等への投稿を行い掲載を目指す。 ●修士論文発表会 2年次学生対象の論文発表会へ参加し、自身の次年度の発表会へ繋げる。
	第3 タ イ ム 第4 タ イ ム	
2 年 次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ●履修登録 前期・後期分の履修計画を立て、登録を行う。 ●「研究指導計画書」の作成・提出 論文作成スケジュールを確認する。 ●基幹科目の履修 広く農学の知識を修得する。1年次に修得できなかった単位について修得する。 ●研究実践科目の履修（専門演習・通年） 課題を自らの研究テーマと関係づけて考え、結果や考察を導くための応用的な能力を習得することを目的とする。 ●修士特別研究の履修・通年 修士論文の作成に向けて、各自の研究課題を具体化し、研究成果の取りまとめを始める。 ●修士特別演習の履修（研究中間報告） 修士論文研究の研究中間報告を行い、専攻の教員や学生とのディスカッションを通じて、データ分析方法や結果の解釈の改善を図る。 ●可能であれば、修士論文に関するテーマについて、学会発表や査読付き学術雑誌等への投稿を行い掲載を目指す。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ●修士論文の提出（1月21日）。 ●修士論文発表会 発表会を実施し修士論文の最終審査を受ける ●修士論文審査及び最終審査報告書（提出論文審査委員（主査）） ●学位授与 学長から学位が付与される
	第3 タ イ ム 第4 タ イ ム	